

株式会社 東京金融取引所

中期経営計画

(2025年4月～2030年3月)



(1) 当面の市場環境と基本方針

我が国経済は、米国政策の不確実性や、地政学的リスクに左右される環境にあるものの、内需を中心に緩やかな成長が続くものと思われる。

国内では、金利のある世界が約四半世紀ぶりに復活したことを受け、より金利を意識した環境となった一方で、海外では金利引き下げに舵を切るなど、金融政策の違いが経済と金融市場等へ広範に影響を及ぼしていくと予想する。

こうした金融環境の変化を踏まえ、当社は顧客ニーズに合致した商品を開発・提供することを最優先課題とし、リテール事業の拡大・ホールセール事業の再建の両面で成長を遂げ、国内金融市場の発展に貢献していく。

(2) 基本戦略

①リテール事業

- ・既存商品の競争力の強化及び国内外の顧客基盤の拡大を図る
- ・商品ラインナップの拡充に加え、新市場開設にも取り組む

②ホールセール事業

- ・円金利先物市場の流動性を高め、市場の活性化を図る
- ・有価証券関連デリバティブ市場参入に挑戦する

③子会社における信用リスク管理事業の推進

- ・信用リスク管理事業を開始し、事業の発展を図る

④システム

- ・今後の事業展開に必要な新システムを開発し、安定したシステム運用を行う

⑤組織・人事

- ・人事制度・教育制度の改善を図り、採用強化を進め、人材のレベルアップを図る

(3) 具体的な施策(1/3)

① リテール事業

i. 既存商品の競争力強化

くりっく365 くりっく365: 新興国通貨を中心に制度見直し等により、市場シェアの向上を図る

くりっく株365 くりっく株365: 流動性の拡充・スプレッドの縮小など競争力強化により、引き続き市場拡大に取り組む

ii. 顧客基盤の拡大

- ▶ 取引参加者拡充による新規顧客の獲得
- ▶ 現地ブローカーとの連携強化による海外リテール層の開拓
- ▶ 取引参加者と協働したプロモーション展開
- ▶ 国内外の法人取引拡大

iii. 新商品の開発

- ▶ 商品ラインナップの拡充
- ▶ オプション市場の開設検討
- ▶ 規制動向を注視しつつ暗号資産関連商品の検討を進める

(3) 具体的な施策(2/3)

② ホールセール事業

i. 円金利先物市場活性化

- ▶ 円金利デリバティブ取引ニーズの取り込みによる市場流動性強化
- ▶ 国内大手金融機関及びヘッジファンド等の海外機関投資家の取引拡大

ii. 新たな市場の創設

- ▶ 有価証券関連デリバティブ市場開設について検討を進める

③ 子会社における信用リスク管理事業

i. 信用リスク管理事業の開始と拡大

- ▶ 多様なユーザーの獲得
- ▶ 取扱対象取引の拡大
- ▶ プラットフォーム機能の拡張検討

(3) 具体的な施策(3/3)

④ システム

i.新システムの開発

- ▶ 新商品・新市場に必要な汎用性と拡張性を備えたシステムを開発
- ▶ 効率化・自動化を進め、安定的にシステムを運用

⑤ 組織・人事

i.人材活用の推進による組織の活性化

- ▶ 若年層に対する教育強化・研修制度の充実を図る
- ▶ シニア層の多様な働き方・活躍を支援する
- ▶ 多様な人材獲得を図る